

● 幹事報告

上中 崇司 幹事



ロータリーの友事務所より、2014-2015年度版ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。ご入用の方は事務局までお申し込み下さい。

ニコニコ箱

- 八幡 建二さん 寒いです。
- 山本 進三さん 村田会長、卓話ご苦労さまです。
- 瀧川 嘉彦さん 村田会長。卓話よろしくお祈いします。
- 村田 昌之さん 本日I.D.M.休みます。すみません。
- 上中 崇司さん 村田会長、本日の卓話よろしくお祈いします。
- 佐藤 義記さん 村田会長、本日卓話宜しくお祈いします。
- 阪神タイガース応援団一同

【お誕生日お祝い】

- 島 公造さん 古希のお祝いありがとうございました。
- 岸裏 廣澄さん お誕生日のお祝いを頂いて。
- 角谷 芳伸さん お誕生日のお祝いを頂いて。
- 吉増 亨さん 今月で43才になります！ 元気に毎日すごせてうれしいです。

本日の累計 55,000円(計10名 11件)(誕生日献金 331,000円 皆出席表彰 35,000円 その他 1,346,482円 累計額 1,712,482円)

ありがとうございました

本日の例会	2月20日(木)P.M.6:30~	於	タイフロンホテル和歌山 4F	前回の例会	2月13日(木)
● 創立55周年記念例会				● 卓話「職業宣言と四つのテスト」	会長 村田 昌之さん
● ピアノ演奏	中井 利枝さん			● ロータリーソング	岸裏 廣澄 ソング副委員長
THE SHADOW OF YOUR SMILE (J.Mandel)				「四つのテスト」	
SECRET LOVE (S.Fain)					
次回の例会	2月27日(木)	メイキャップ		敬称略	
● 卓話「脳のおはなし」		2月12日(水)	和歌山東南R.C.	島 公造、谷口 文利、	
和歌山県立医科大学地域医療支援センター、				林 毅、山本 進三	
和歌山県地域医療支援センター		2月14日(金)	和歌山南R.C.	林 毅、山本 進三	
教授・センター長 上野 雅巳さん					

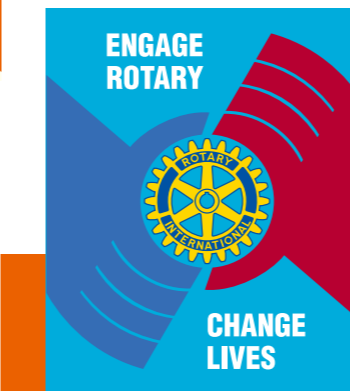
出席報告

会員数 42名(内出席規定適用免除会員16名) 岸裏 廣澄 出席副委員長

2月13日(本 日)	27名	75%	1月30日(メイキャップ後)	32名	88.9%	(欠席4名)
------------	-----	-----	----------------	-----	-------	--------

皆さん、出席してください。

国際ロータリー第2640地区 和歌山県立医科大学地域医療支援センター、和歌山県地域医療支援センター 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073)424-9392 例会日 木曜日 12時30分
事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343 FAX (073)432-4845
創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 亀田 直紀 後 亮 谷口 文利 笹島 良雄 吉増 亨



凛として原点に

2013~2014年度
和歌山東ロータリーのテーマ

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013~2014年度
国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー
第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL <http://www.werc.jp> E-mail info@werc.jp

2014年2月20日(木)
週報 / VOL.55 No.31
(通巻2624)

● 会長報告・卓話

村田 昌之 会長



職業奉仕の第一の目標は、ロータリーの高度な道徳的水準を推進する事です。ロータリアンが水準の評価に用いる2つのツール(道具)は「四つのテスト」と「職業宣言」です。職業奉仕はロータリークラブ設立のルーツとも言えます。創立者でもあるポール・ハリスの元来の意図は、実業家や専門職の交際の輪を形成する事でした。

はじめは、助け合いを目指しておりましたが、次第に地域社会の関係の中から「自己の職業を通じて社会に奉仕する事を目標」にするようになりました。すなわち、英語で言うServiceであります。これが日本で「奉仕」と訳されているわけです。

皆様方は既にご存知のように、ロータリーでの職業奉仕の言語はVocational Serviceです。1995年版の手続き要覧により「Vocation」(職業)という言葉は、定職 Regular Employment、稼業 Calling、事業 Business、専門職務 Profession、あるいは業務 Occupationを指すものとなっております。

英和大辞典のVocationの項には、神 ①(個人又は団体に対し、救世の生活に就けどの)神のお召し、神の召出しによる精神的な生活 ②天職使命 とありますように、宗教的色彩の強い用語ですが、私は日本人が一番わかりやすいのは「天職」ではなかろうかと思えます。ロータリーの職業奉仕とは「天職への奉仕」なのです。

私達の職業上の繁栄というのは、儲けだけを追い求める所だけでなく、「利己と利他との調和」、又「高い道徳心・倫理」を通じて得られるという事です。

そして、地域社会から尊敬の念を持って支持され続けて行くのです。「フェアな精神と個人の質の向上」このロータリーの職業奉仕に流れる思想こそが他の奉仕団体にはないロータリー本来の存在意義なのではないでしょうか。

それ故に、つぶしてならない。常に改革しながら継続しなければなりません。適正な利潤をうることで、取引関係が授業員との関係がよくなり、又顧客との関係もよくなる事で地域社会に貢献することとなるのです。

無料奉仕や極端な割引行為等は社会奉仕の一端となると思えます。言うまでもなく、ロータリーは一業一会員制をとってきました。唯一選ばれた者であり、そして例会に出席義務による、いわゆるライバルのいない異業種交流でありました。お互いに人間として研鑽を重ね、豊かな心を育くみ、思いやりの心を育てて来ました。

1905年のロータリー創設以来、ロータリアンは非常に高い職業倫理を重視してきました。「ロータリーの綱領」の第2では、ロータリアンに事業及び専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること、そして、ロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕のために、その業務を品位あらしめる事を呼びかけています。

最初のロータリークラブであるシカゴロータリークラブでは、商取引の方法のための委員会が組織されました。

1911年の第2回ロータリー大会で2大標語が発表されました。1つはシェルドンの「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」であり、あと1つはコリンズの「超我の奉仕」です。1915年のサンフランシスコ大会に於いて職業倫理規定が採択されました。

1943年国際ロータリー理事会は1932年にハーバートJ・テイラー(1954~55年度国際ロータリー会長)によって考案された、四つのテストを職業奉仕の理想の公式要素と定めることを決議しました。これによって、ロータリアンは職業奉仕の目標に達するための道具を得たと言えます。

企業を倒産から救う仕事を任されていたテイラー氏は、企業を再興するための自分の行動を監視する手段とし

てテストを作成しました。このテストの成果がとても役に立ったことに喜び、氏は他の者にも分かち合い始め、職業奉仕理念の公式要素とする決議に至りました。規範や信条というよりは、テストは質問の形態をとっています。これらの質問に回答し、親善の推進や道徳的な事業、職業水準を推進するための取引として使うのは各個人次第です。

ロータリー史の最初の80年余り、第2の奉仕部門即ち職業奉仕は主として、ロータリアン一人一人の責任であり、各々のロータリアンが各自の職場で個人的な貢献を行う事が重視されていました。クラブはロータリアンがその専門技術や知識、ロータリー理念をより大きなコミュニティと分け合う機会となる就職セミナーや、職業訓練研究会等の主催を通じて職業奉仕の定義を次第に拡張してきました。ロータリアンは喜んで自分のビジネス上の利益を超我して職業奉仕活動に尽くしたのです。

この様な経過を経て1987年、40年ぶりに国際ロータリー職業奉仕委員会が第2奉仕部門の再定義を行う為に招集されました。委員会は新しい方針を提案し、同時に新しい委員会構造を創設しました。これらは同年、R.I. 理事会に依って採択され、職場及び地域社会での職業奉仕は公式にロータリアン各人、そしてクラブの果たすべき責任となったのです。

1989年規定審議会は「職業宣言」を採択しました。この宣言では「ロータリーの綱領」に述べられた高度な道徳的水準を詳細に解説し、ロータリアンはこれによって、各自の職業倫理と職業奉仕プロジェクトを通じて、鼓吹しようとする道徳的水準を測定するための指標をまた一つ得たのです。

職業宣言について少し整理をしてみたいと思います。

宣言の(1)、自分の職業は、奉仕のためのもう一つの機会であると考えよう、と記していますが、職業奉仕の新しいスローガンともいうべき重要な一行であります。

他の文章の要旨を大別しますと、

- 1) 職業の倫理・道徳模範を忠実に遵守するとともに、さらに推進すること。自らの職業の品位を保持し、社会に有用な業務に対して尊敬と敬意を表すること。
- 2) 雇主、従業員その他関係のある人々に対し公正であること。またロータリアン同志ということで特別な便宜をはかってはいけない。
- 3) 自分の職業上の手腕を、青少年に対しあるいは地域社会の質の向上のために役立たせる事が必要である。

1) と2) に関しては従来から多くの議論がくり返されています。これら倫理・道徳規範の基準として、アメリカにおいてはキリスト教、プロテスタントの精神が存在するといえるでしょう。

現在の日本は豊かな物質に恵まれ、経済大国の一つと称せられています。しかし、その過程において、私達はモノ・カネという目に見えるものをあまりにも追究しすぎたのではないのでしょうか。その結果、大切な心の問題を忘却し、倫理、道徳規範に対する厳格さをなおざりにしているようです。

次に3) に関して、各自の持っている能力を地域社会や青少年のために役立たせよう、という主旨です。その活動は個人としてもクラブとしても実行可能であり、両方に責務があるとしています。

具体的な例として4つの小委員会の設置をすすめています。(R.I. は決して強制はしません。) 自己の職場で自己の職業に個人的に寄与する事に重点をおいていた過去の方針から、このような新しい方向の展開がなされました。

1990年代に入っの職業奉仕は、新たにロータリアンがその専門職技能を分け合う2つの機会が加えられて、一層の発展をみましました。

1992年にはロータリーボランティアプログラムが、職業奉仕の傘下に入り、1993年には国際職業連絡グループと世界親睦活動とが合併して、ロータリー趣味職業別親睦活動が形成されたのです。

「四つのテスト」の読み方

1. **Truth** ; 「真実は神のみぞ知る」
 といった絶対的なものではなく、「事実そのまま偽りはないか」であり、これが全ての前提である。
2. **Fair to all concerned** ; 「みんなに公平か」と訳されているが、コンサーンドフェアは契約社会でルール(社会規範、法則など)にかなうことである。
 全ての関係者、一経営者、従業員、取引先、顧客などに対してルール違反していないか、自問するのである。
3. **Good will** ; 好意より一歩進めて善意即ち思いやりを持って、相手の立場に立って考えれば、自ら友情は深まる。個人主義の国アメリカが紐帯の強い社会を形成している理由の一つは善意を大切にすることからであろう。
4. **Beneficial to concerned** ; 日本語訳
 みんなの為になるかは精神的、道徳的響きが強いか、英文はずばり関係者みんなに利益になるかである。会社が利益を上げる事が従業員の利益となり、ひいては皆の利益につながるのと締めくくっているのだから。ちりぢりばらばらの従業員を一致団結させるために、テイラー氏が考えた四つのキーワードは、期せずして多民族国家アメリカの統一原理と合致したため、彼を始めこれを活用した多くの企業家が成功したのである。

お誕生日お祝い



おめでとうございます!

- 島 公造さん** 先日、古希のお祝いをして頂きましたが、私が古希になるとは思いもよらないことでした。まだまだ家内共々気分的にも若くいきたいなと思っています。
- 岸裏 廣澄さん** 64才になりましたが、先日家内から数えて65だと言われました。四捨五入したら70だということで大変だな、と思いましたが今後も頑張っていきます。
- 吉増 亨さん** 43歳で年少組です。あまり年をとりたくないの、ダンスなどしながら出来るだけ逆らってすごしています。
- 角谷 芳伸さん** 50歳、半世紀をきた年中組です。まだまだ立派な先輩方がたくさんいらっしゃるの自分も頑張っていきます。